

第4 いわき出張所

(1) 被災者に対する健康支援

1 被災者健康サポート事業【全庁重点・所重点】

借上住宅等で生活している被災者等が健康的な生活を維持できるよう、避難元市町村及びいわき市と連携しながら、健康支援活動の実施体制を整備するとともに、健康状態の悪化予防や健康不安の解消に向けた健康支援活動を実施しました。

(1) 仮設住宅・借上住宅等の家庭訪問

市町村からの依頼を受け、家庭訪問により、健康状態の把握を行い、健康相談、継続支援活動等を実施しました。

■家庭訪問状況（市町村別）

市町村	健康相談（延人数）			口腔ケア（再掲）			栄養指導（再掲）		
	仮設住宅	借上住宅	計	仮設	借上	計	仮設	借上	計
南相馬市	7	586	593	0	0	0	0	0	0
広野町	20	11	31	0	0	0	0	0	0
富岡町	8	1,502	1,510	1	1	2	4	3	7
川内村	5	0	5	0	0	0	0	0	0
大熊町	9	85	94	0	4	4	0	0	0
双葉町	40	733	773	0	0	0	0	1	1
浪江町	0	145	145	0	0	0	0	0	0
合計	89	3,062	3,151	1	5	6	4	4	8

(2) 相双地域交流サロンの支援

平成24年度に当所が開設し平成25年度からNPO法人主催となった相双地域交流サロン（旧「小名浜交流サロン」、借上住宅居住者対象）へ専門職を派遣し、健康講話等を実施しました。

■相双地域交流サロンへの専門職の派遣状況（単位：人）

開催年月	開催回数		内容	参加人数
	小名浜	常磐		
平成25年4月	4回	—	・健康講話(脂質異常・高血糖について、検査の見方)・健康体操(肩こり予防)・茶話会	21
5月	4回	—	・健康講話(高血圧、腰痛、世界禁煙デー)・健康体操(肩こり予防、ストレッチ)・茶話会	27
6月	4回	—	・クラフト工作・茶話会	33
7月	3回	1回	・健康講話(歯科、熱中症予防)・茶話会	38
8月	4回	1回	・健康講話(熱中症予防、ロコモティブシンドローム)・健康体操(認知症予防、転倒予防)・茶話会	49
9月	2回	1回	・健康講話(結核予防について)・クラフト工作・茶話会	32
10月	3回	1回	・健康講話(食生活のポイントについて、食中毒予防について、インフルエンザ対策)・茶話会	51
11月	3回	1回	・健康講話(減塩について、歯科講話、ロコモティブシンドロームについて、エイズについて)・茶話会	56
12月	3回	1回	・クラフト工作・浪江町住民の語りべ・合唱・茶話会	52
平成26年1月	3回	1回	・健康講話(健康寿命について、ノロウイルスとインフルエンザ予防)・合唱・茶話会・健康体操(ロコモ・肩こり予防、ストレッチ)	73
2月	4回	1回	・健康講話(健康診断を受けるときの注意点)・クラフト工作・茶話会	69
3月	4回	1回	・健康講話(血圧測定の仕方、正しい歩き方)・クラフト工作・人形浄瑠璃+朝鮮半島芸能+和太鼓・語りべ・茶話会	62
合計	50回			563

(3) 市町村等主催サロン・健康相談会の支援

市町村等が実施する交流会、サロン等に、看護師、管理栄養士、歯科衛生士を派遣し、避難者の健康の保持・増進や介護予防等の活動を支援しました。

実施回数：延べ 58 回

参加人数：延べ 935 人

■市町村等主催サロン・健康相談会への専門職の派遣状況 (単位：人)

町名	回数	内容	参加人数
広野町	4	健康相談・料理教室・歯科サロン	62
檜葉町	7	健康相談・栄養相談	144
富岡町	35	健康相談・栄養相談・料理教室・栄養サロン・歯科サロン	557
大熊町	6	歯科サロン	43
双葉町	6	健康相談・栄養相談・栄養サロン・歯科サロン	129
合計	58		935

2 被災者の心のケア事業

被災者支援を円滑に行えるよう、ふくしま心のケアセンターいわき方部センター(以下、「ふくしま心のケアセンター」という。)と会議・打ち合わせを行うとともに、被災者のPTSD(心的外傷ストレス障害)やうつ病、アルコール問題等の心の問題に対応するため、同行訪問を行いました。

また、被災者支援に携わる生活支援相談員等の支援者自身が健康な状態を保ちながら支援活動に取り組むとともに専門的知識を得、対応についての理解を深めることを目的としてふくしま心のケアセンターと共催し研修を行いました。

会議等開催回数：延べ 19 回

同行訪問回数：延べ 256 回

研修会実施回数：4 回

■研修会の実施状況 (単位：人)

開催日	テーマ	参加者数
平成 25 年 8 月 2 日	支援者のためのストレスケア研修会	90
平成 25 年 11 月 1 日	生活不活発病	82
平成 25 年 12 月 26 日	復興支援者のためのストレスケア研修会	99
平成 26 年 1 月 22 日	依存症の理解と支援～ギャンブル依存症を中心に～	48

※ 開催場所：いわき市文化センター

3 子どもの心のケア事業【全庁重点】

発達の遅れやその疑いのある幼児へ適切な養育を行い、その保護者に対し心理的・技術的サポートするため、子どもの心のケア事業による人材派遣を活用し「相双地域あそびの教室」を開催しました。

相双地域あそびの教室開催回数：10回

参加児数：延べ 42人

子どもの心のケア事業による人材派遣：保育士10回、医師3回

■相双地域あそびの教室の実施状況

開催年月日	内 容
平成 25 年 5 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師による相談・助言 ・ 臨床心理士による相談及び発達検査（ふくしま心のケアセンター） ・ 保育士による遊びの指導及び相談 ・ 保健師による相談 ・ その他、保護者に対して養育に必要な助言
6 月 24 日	
7 月 22 日	
8 月 19 日	
9 月 30 日	
10 月 21 日	
11 月 25 日	
12 月 16 日	
平成 26 年 1 月 27 日	
2 月 24 日	

4 被災地における障がい福祉サービス基盤整備事業

(1) 被災した障がい児に対する医療支援事業（発達相談会）

東日本大震災により被災した障がい児（その疑いのあるものを含む。以下、「障がい児等」という。）へ児童精神科医、小児科医（以下、「医師」という。）により医療支援が行われる発達相談会に同席し、個別事後フォローを行うとともに、いわき市内の支援体制や社会資源活用のための情報提供等を行いました。

参加回数：8回

受診児数：14人

■発達相談会への参加状況

開催年月日	内 容
平成 25 年 4 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 診察 障がい児等を対象に診察を行う。 ■ 支援者に対する助言等 障がい児等の支援者（保健師等）に対し、障がい児等の支援方法について助言等を行う。
6 月 10 日	
8 月 22 日	
9 月 9 日	
10 月 7 日	
11 月 7 日	
12 月 2 日	
平成 26 年 3 月 3 日	

(2) 地域連携会議への参加

障がい児等への相談及び療育を含む援助を行い、安心して生活するための支援を行うため、「被災した障がい児に対する相談・援助事業」を受託する事業所が、保健・福祉・学校関係者が一堂に会して開催する地域連携会議に当所も出席し、情報共有や支援方針の検討等を実施しました。

■地域連携会議への参加状況

実施日（参加日）	参加団体（随時参加の団体も含む）
平成 25 年 4 月 15 日	NPO 法人わくわくネットいわき（ゆいまーる・ふたば）
5 月 20 日	希望の杜福祉会
6 月 17 日	いわき福音協会（なずなホーム）
7 月 17 日	福島県福祉事業協会双葉事務所
8 月 19 日	福島県相談支援アドバイザー派遣事業事務局
9 月 2 日	発達障がい者支援センター
10 月 21 日	福島県立富岡養護学校
11 月 18 日	福島県立平養護学校
12 月 16 日	双葉郡町村役場
平成 26 年 1 月 20 日	福島県保健福祉部障がい福祉課
2 月 17 日	いわき市障がい福祉課
3 月 17 日	福島県相双保健福祉事務所いわき出張所

(3) 相双地域障がい児・者支援関係者会議の開催

いわき地域に避難している障がい者・児の対応について、事業所等が抱える問題や支援体制確保のための課題などについて、情報共有や課題検討を行うため、会議を開催しました。

■相双地域障がい児・者支援関係者会議の開催状況

実施日	参加団体（随時参加の団体も含む）
平成 25 年 4 月 22 日	希望の杜福祉会
5 月 27 日	相談支援事業所 結いの里
6 月 24 日	いわき福音協会 相談支援アドバイザー
7 月 22 日	ふくしま心のケアセンター
8 月 26 日	福島県立富岡養護学校
9 月 24 日	福島県相双保健福祉事務所いわき出張所
10 月 30 日	
11 月 18 日	
平成 26 年 1 月 20 日	
2 月 28 日	
3 月 24 日	

(4) 双葉地方地域自立支援協議会との連携

いわき地域の課題について、双葉地方地域自立支援協議会構成機関等と情報を共有し、福祉支援体制の充実に向けて協議するため、連絡会及びくらし部会に参加しました。

■双葉地方自立支援協議会への参加状況

会議名	参加日
自立支援協議会連絡会	平成 25 年 12 月 17 日、平成 26 年 3 月 3 日
自立支援協議会くらし部会	平成 25 年 10 月 22 日、平成 26 年 2 月 18 日

(2) 被災者支援に係る市町村等との連携

1 被災者支援に係る市町村等との連携強化事業【所重点】

(1) 市町村との連絡会議

ア 市町村との打合せ

避難者に対する健康支援活動が効果的に実施できるよう、避難元市町村及びいわき市と情報交換や課題の整理、対応策の検討等を計 64 回行いました。

■市町村との打合せ回数

市町村	南相馬市	広野町	楡葉町	富岡町	川内村	大熊町	双葉町	浪江町	葛尾村	いわき市
回数	3	4	1	23	1	2	23	5	0	2

イ 市町村毎のケア会議の開催・参加

市町村またはいわき出張所が訪問したケースについて、情報共有、今後の方針について話し合うためにケア会議を開催または参加しました。

■ケア会議の開催・参加回数

市町	楡葉町	富岡町	大熊町	いわき市	合計
回数	5	17	11	1	34

ウ 保健事業担当会議の開催

いわき地域に避難している住民への健康支援の調整を図るため、南相馬市、双葉郡町村、いわき市及びふくしま心のケアセンターなどを参集者に会議を開催しました。

■保健事業担当会議の開催状況

(単位:人)

開催年月日	議題	参加者
平成 25 年 5 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児支援体制等について ・福島県母子保健事業について ・感染症対策について ・ふくしま心のケアセンターの活動について 	37
9 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健対策について ・メンタルヘルス対策について ・被災者健康支援体制について ・障がい児・者支援関係者会議について 	25
12 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・相双保健福祉事務所いわき出張所における平成 26 年度保健事業予定について ・平成 26 年度母子保健事業について ・感染症予防対策について 	24
平成 26 年 2 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・いわき市における 1 歳 6 か月児及び 3 歳児健康診査について ・平成 26 年度母子保健事業予定について 	27

2 各関係機関との連絡会議等の実施について

(1) 相談支援専門職チーム（いわき地区）との打合せ会議

いわき地域の相談支援専門職チームが開催する打合せ会議に出席し(計 10 回)、各機関や専門職の活動状況やいわき地域での避難者の状況の把握等を行いました。

(2) 各関係機関への実態調査

いわき地域において相双地域等からの避難者が利用している障がい児・者及び介護関係事業所等の実態を把握し、今後の対策に資することを目的とし訪問・面談調査を行いました。

■実態調査の実施施設数

調査実施施設の種別	施設数	調査実施施設の種別	施設数
自治体	2	障がい児・者関係事業所等	10
社会福祉協議会	3	高齢者関係施設	3
合計 18 施設			

(3) 被災市町村への支援者支援

ア グループミーティングの実施

住民と直接関わる機会の多い広野町絆支援員、富岡町生活支援相談員を対象に、情報を共有しつつ日頃の悩みや困りごとを話し、必要時専門職から助言・指導を行い問題解決につながるよう支援することを目的として、ふくしま心のケアセンターと協力しグループミーティングを実施しました。

広野町絆支援員：26回 延べ128人

富岡町生活支援相談員：7回 延べ43人

イ 研修会・事例検討会の開催

被災者の避難生活の長期化に伴い、避難者の状況の変化や個々の抱える問題が深刻化している状況を踏まえ、被災者の支援に携わる支援者を対象に被災者の理解を深め適切な対応技術を習得し、さらなる支援の向上を図るために研修会・事例検討会を実施しました。

■研修会・事例検討会の実施状況

(単位：人)

開催日	テーマ	参加者
平成 25 年 7 月 16 日	被災者支援に携わる支援者のための精神保健スキルアップ研修 講演：「パーソナリティ障害への理解と支援～境界線型パーソナリティ障害を中心に～」 講師：医療法人稲門会いわくら病院 精神科 崔炯仁 医師	102
12 月 3 日	被災者支援に携わる支援者のための精神保健スキルアップ研修 講演・事例検討：「高齢者のメンタルヘルス～医療機関との連携のための基礎知識～」(認知症、うつ病、アルコール問題、自殺への対応) 講師：京都府立医科大学大学院医学研究所 成本迅 医師	23
3 月 12 日	被災者支援に携わる支援者のための精神保健スキルアップ研修 事例検討：「心理発達に関して援助が必要な母子事例」、「双極性感情障害の母親と家族への支援が必要な事例」 講師：京都大学大学院教育学研究科臨床教育学専攻 心理臨床学講座 教授 桑原知子	21

(3) 母子保健対策の推進

1 市町村母子保健事業指導事務

母子保健事業に対し、市町村保健師等の派遣による支援を行うため母子保健事業従事者のスキルアップの機会を確保し、地域の母子保健支援体制の充実を図りました。

(1) いわき市の幼児健康診査への保健師等の派遣

事後支援の必要な乳幼児が増えている状況を踏まえ、3歳児健康診査において、事後支援にかかる情報を現場から把握し、各市町村と連携して適切な支援に結びつけることを目的として保健師等の派遣を実施しました。

派遣回数：保健師 79 回、歯科衛生士 13 回

■いわき市幼児健康診査受診件数 (単位：人)

		南相馬市	広野町	檜葉町	富岡町	川内村	大熊町	双葉町	浪江町	葛尾村	小計	合計
受診者	4 か月	6	22	42	43	4	37	20	15	0	189	731
	10 か月	7	26	35	53	2	39	9	24	0	195	
	1 歳 6 か月	10	23	31	49	2	30	8	22	0	175	
	3 歳	4	27	32	40	4	37	8	19	1	172	
	合計	27	98	140	185	12	143	45	80	1	731	

(2) 研修会の開催

■研修会実施状況 (単位：人)

開催日	テーマ	参加者
平成 26 年 2 月 25 日	講演：「乳幼児の正常な発育・発達の特徴と健康診査におけるスクリーニングの実際」～1歳6か月児、3歳児健康診査を中心に～ 講師：独立行政法人国立生育医療研究センター理事、日本小児保健協会理事、日本小児科学会監事、Rabbit Developmental Research 平岩幹男 医師	59

2 小児慢性特定疾患治療研究事業

小児慢性疾患のうち、治療法の確立していない特定の疾患に罹患している児童に対し、治療研究に必要な費用を交付し、患者家族の医療費の負担を軽減する事業で、当所においても申請の相談に対応するものですが、相談がありませんでした。

3 不妊・不育で悩む人への支援事業

高度生殖医療（体外受精・顕微授精）による不妊治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減するため、治療費の一部助成に係る電話及び来所相談に対応しました。

相談件数：2 件

(4) 保健医療体制の充実

1 精神保健医療費関係事業（精神障がい者の措置入院等）

精神障がいによる自傷他害のおそれ又はその疑いのある者を精神保健指定医に診察させ、その結果必要と認められる者を県立病院又は指定病院に入院させる事業ですが、双葉警察署管内で保護された者はいませんでした。

2 精神訪問指導事業

精神疾患の早期治療及び精神障がい者の社会復帰の促進を図るため、精神保健福祉に関する相談対応や訪問指導を行いました。

対応件数：144 件（電話相談 5 件、所内相談 1 件、訪問相談 138 件）

(5) 自殺対策の充実

1 自殺対策緊急強化基金事業【所重点】

(1) 普及啓発事業

自殺予防に関する普及啓発を図るため、9月の自殺予防週間に、家庭訪問やサロン等において啓発資材の配布等を行いました。

配布部数：400 部

(2) 市町村人材育成事業

被災者の健康支援等に従事する職員を対象とした研修会を開催し、自殺の兆候を発見し自殺を予防するゲートキーパーを養成するとともに、市町村や関係機関の職員を対象とした研修を開催し、担当職員の資質の向上を図りました。

■研修会の実施状況

研修会名	開催日	参加者	対象
自殺予防ゲートキーパー養成研修会	平成 25 年 12 月 5 日	28 名	生活支援相談員、絆支援員等
精神保健福祉関係職員等精神保健スキルアップ研修会	平成 25 年 7 月 26 日	102 名	生活支援相談員、市町村保健師等
	平成 25 年 12 月 3 日	23 名	市町村保健師、介護支援専門員等 対象
	平成 26 年 3 月 12 日	21 名	市町村保健師、介護支援専門員等

(6) 感染症対策の推進

1 感染症予防対策事業【所重点】

結核等感染症に対する理解と啓発を図るため、結核予防週間に啓発活動を実施しました。

また、いわき地域における相双地域の仮設グループホーム等に対し、被災者支援の観点から感染症予防や感染拡大防止の徹底を図り、各対象施設等における被災者の健康管理の向上に資することを目的に施設指導を実施しました。

その他、新型インフルエンザ等対策として、行動計画の作成支援のほか各種会議等へ出席しました。

■結核予防週間啓発活動 (単位：人)

実施年月日	実施内容	場所	参加者 (配布数)
平成 25 年 9 月 24 日	結核健康教育	常磐地域交流サロン	11
9 月 13 日 ～9 月下旬	普及啓発資材の配布	家庭訪問対象世帯、サロン等	88

■相双地域の仮施設等に係る被災者支援（感染症予防対策）の実施状況

実施年月日	実施場所
平成 26 年 2 月 6 日～17 日	仮設グループホーム及び仮設障がい者支援施設 5 ヶ所 (憩いの家、高原の家かわうち、ならば、せんだんの家、東洋学園)

(7) エイズ対策、肝炎対策の推進

1 エイズ対策促進事業

エイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図るため、啓発活動を実施しました。

■啓発活動の実施状況 (単位：人)

実施年月日	実施内容	会場	参加者数 (配布数)
平成 25 年 11 月 26 日	エイズ予防教育	常磐地域交流サロン	15
11 月 14 日～ 12 月上旬	普及啓発資材の配布	相双地域から避難している高等学校、県立富岡養護学校へ配布	195

2 保健所における肝炎相談事業

肝炎の早期発見と患者・家族等の不安の軽減を図るため、電話及び来所での相談対応を行いました。

相談対応件数：1 件

(8) 難病対策

1 難病在宅療養者支援体制整備事業【所重点】

(1) 難病患者相談指導事業

いわき地域へ避難している難病患者の在宅療養を支援するため、保健師、栄養士、歯科衛生士等による家庭訪問等相談対応を行いました。(随時)

■相談対応実施状況

・来所相談：延べ人数 145 人 (実人数 118 人) (単位：人)

実人数	延人数	相談内容 (再掲・延人数)								
		申請等	医療	家庭介護	福祉制度	就労	就学	食事栄養	歯科	その他
118	145	136	1	0	0	2	0	0	0	6

・電話相談：延べ件数 16 件

・家庭訪問：延べ件数 24 件 (実 19 件)

(2) 難病患者医療相談事業

疾病等に対する不安の軽減を図るため、専門の医師等による医療や療養生活に関する相談会・交流会をいわき市内で開催しました。

■医療相談事業の実施状況

(単位:人)

対象疾患	開催年月日・会場	テーマ	参加者
全疾患対象	平成25年10月22日 いわき産業創造館 ラトブ	・講話及び実技「心の健康を保つために」「操体法の実技」 ・交流会	5

※スタッフ:精神科医師・心のケアセンター心理士・保健師・管理栄養士・歯科衛生士・難病ボランティア

2 特定疾患治療研究事業

原因が不明で治療方法が確立されていない特定疾患について、治療研究を行うとともに、医療費の自己負担の軽減を図るため、いわき地域における受給者証交付申請に関する事務を行いました。

■申請受理及び進達件数

新規	更新	転入	変更等
14	112	1	18

3 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

患者の医療負担の軽減を図り、精神的、身体的不安の解消を図るため、いわき地域における受給者証交付申請に関する事務を行いました。

申請件数: 1件

4 遷延性意識障がい治療研究事業

遷延性意識障がい者の医療費の負担軽減を図る事業ですが、申請がありませんでした。

(9) 生活習慣病対策の推進

1 禁煙・分煙の普及啓発

「世界禁煙デー」(毎年5月31日)に、いわき合同庁舎において禁煙・分煙キャンペーンを行いました。

(10) 生活保護の適正実施

1 生活保護適正実施推進事業

いわき市へ避難した被保護者・要保護者等の訪問調査活動、扶養能力調査及び収入資産調査等を実施しました。

訪問調査件数 : 延べ42件 (実12件)

うち新規申請調査件数 : 延べ15件 (実5件)

(11) 女性福祉の向上

1 配偶者暴力相談支援センターネットワーク事業

家庭や生活、就職、離婚等の女性に関わる相談への対応や関係機関との連絡調整等を行うなど、富岡福祉相談コーナーの母子自立支援員兼女性相談員とともに相談対応等を行いました。

相談指導件数：延べ 16 件（内訳「夫等からの暴力」10 件・「住居問題」6 件）

※ 福島県女性保護事業実施要綱第 24 条に基づく業務報告による分類

(12) 各種免許の交付

1 医師免許等の交付事務

医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師等医療従事者の免許申請に係る事務を行いました。

看護師免許等進達件数 ： 4 件

2 栄養士・管理栄養士指導事業

栄養士・管理栄養士の免許申請に係る事務を行いました。

栄養士免許申請等進達件数 ： 3 件